目白大学 Mejiro University 同窓会報

Vol.24
September 2018

Mejiro University Alumni Association Report

INTERVIEW

油彩で抽象表現を描く現代美術アーティストとして作品制作に励む傍ら、学校法人高橋学園にて講演活動を行っている、学生時代と共に歩んできた人生の話も聞いた。

個展にも来てくれる一生の友に出会えた

現代美術アーティスト/学会賞

平成19年度
人文学部現代社会学科卒業

高橋 晴美さん

高橋 晴美 ―HARUMI TAKAHASHI―

大学卒業後に社会人を経て、武蔵野美術大学油彩学科油絵学科に進み、現代美術アーティストの道へ。主な受賞歴は、東京都美術館にて「東京都美術館賞」、「TOKYO 2020 Mural Project」の参加作家に選ばれ、大型壁画を制作。また、2018年には、「第25回さえき祭」にてOB学会賞にノミネートを受賞し、活躍を続ける。

同窓生の現在 Graduate Voice

2018年1月24日～29日「第2回 高橋晴美個展」ホール・オブ・ホール銀座にて開催予定

自分にしかできない美術と学しかの道へ

特に印象に残っているのは、当時の学長であった故・佐藤勝先生の授業です。先生の授業は、毎回テーマが決まっており、そのテーマに沿って、様々な作品を見ながら、先生の解釈を聞くというものでした。先生の解釈は、一般的な解釈とは異なるものが多く、毎回驚かされました。先生の授業を受けることで、自分の中の美術に対する考え方が広がったように思います。

また、先生の授業は、毎回テーマが決まっており、そのテーマに沿って、様々な作品を見ながら、先生の解釈を聞くというものでした。先生の解釈は、一般的な解釈とは異なるものが多く、毎回驚かされました。先生の授業を受けることで、自分の中の美術に対する考え方が広がったように思います。

福島千佳さん在学時代の一枚。学生食堂にて友人たちと。

コミュニケーションの楽しさを学んで、今に

私は、大学入学前から、美術の道に進むことを決めていました。大学入学後は、絵画制作に没頭する日々を過ごしていました。大学入学後は、絵画制作に没頭する日々を過ごしていました。